



# いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

2530

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：八幡 恭朗 幹事：志賀 康朗 発行：会報・広報委員会

第 3214 例会 (19号) 2020 年 11 月 19 日 (木) 曇

## 外部卓話 SPEECH

### FMいわきが災害で 何を伝えたのか



フリーパーソナリティ ベティ 様

私は震災後に始めたことが2つあります。1つは、心理学の勉強。2つ目は手話の勉強です。ろうあ者の方がラジオの見学に来てくれたことがきっかけでした。普段は声で届ける仕事ですが、聞こえない方にも何か伝えることができないかと思い手話を勉強しています。

私はラジオパーソナリティーの仕事始めて25年くらいになります。パーソナリティーになるために専門学校で学んだあと、全国各地で仕事をしていましたが、今はFMいわきで仕事をしています。今日はFMいわきが震災の時に何を伝えたのかをお話します。

そもそもFMいわきができた理由は、平成7年の阪神淡路大震災の時にコミュニティ放送が活躍して、地域の人が必要とする細かい情報を伝えることができたからです。実際に現地を視察して災害での放送を学んでの設立となりました。私たちは災害放送をするために日々の放送をしています。日常の放送は、いざというときに聞いてもらうため、思い出してもらうために行っています。今はアプリでも聞くことができます。

東日本大震災では、1度だけ入ることが許可された現場などにも取材に行きました。その時のにおいや雰囲気は今でも忘れられません。

震災時、最初に取り組んだのは大津波警報を伝えることでした。それまでに大津波警報を発信したことはありません。私の声はキャラ声と言われているのですが、大津波警報の時は、どうか伝われと思いながら最大限の怖い声で伝えました。震災後にリスナーから、あの時怖い声で伝えてくれたから海に戻らないで助かったと声をかけていただきました。

次に取り組んだのは安否情報でした。行方不明者を探してほしいという電話もFMいわきに沢山かかってきていましたが、私たちはそのような呼びかけは無責

任と考えてできませんでした。逆に、無事であるということ伝える安否情報に切り替えて放送したところ個人や団体から約200件の情報が寄せられました。

いわき市の災害対策本部が立ち上がったからは、そこに無線機を持ち込んで情報を伝えました。私の25年の放送人生の中で一番つらかったのは、身元不明のご遺体の情報を伝えることです。警察からの依頼により1日3回くらい情報を伝えるのですが、この放送前にはスタッフともども手をつないで気持ちを一つに放送したのを覚えています。

そのほか、生活情報や交通情報など多岐にわたる情報をお伝えしました。市民の方にとっても気持ちのほけ口にもなっていたようで、沢山のお電話も頂戴しました。開いている病院や薬局に関する問い合わせも多く、FMいわきでは電話で病院や薬局に問い合わせをして正確な情報を伝えることにしました。

FMいわきの壁一面にリスナーからの激励のメッセージ貼って、自分たちを奮い立たせることができました。当時24時間の生放送をアナウンサー、ディレクター、技術の3人体制の3交代、9名で放送していましたが、ぎりぎりの体制でした。

原発に関しては私たちもよくわかっていないことが多く、放射能とは何なのかどんな影響があるのか伝えるのに困っているときに、草木台にお住いの吉原先生という退任された大学の先生からご連絡をいただき、すぐに取材に行きました。先生には、放射能に関するいろいろな情報を教えていただき放送することができました。

SOSへの対応では、双葉町の病院から300名の患者さんが光洋高校へ避難をしてきたときに、「光洋高校には暖房用の灯油が不足しているのでペットボトルに入れた少量ずつでも良いから灯油を分けていただきたい。おかゆの炊き出しにもスタッフも容器も足りないので手助けをお願いします。」という放送をしたところ、本当に多くの皆さんに手を差し伸べていただきました。望洋荘という高台の老人ホームが孤立しているという情報を流した時には、歩いて物資を届けてくれた方もいたということを知りました。

これからもFMいわきでは災害が起きたときに緊急情報を流すこととなります。いわき市ともいろいろな提携を結んでいます。何かが起きたときには是非FM



2020~2021年度  
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーは機会の扉を開く」

Rotary Opens Opportunities

# 「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

いわきを聞いていただけたらと思います。

私は、災害に関する放送の中でいろいろな人と出会うことができました。その中で災害弱者と呼ばれる方々の存在も知りました。冒頭のろうあ者の方々も災害弱者の一人です。そういう皆さんの手助けができればいいと思います。ラジオの放送は、実際に災害現場で包帯を巻いてあげることはできなくても、寄り添うことはできると思います。災害はないに越したことはありませんが、常に災害に対する準備をしながら、日々の楽しい放送をお届けしたいと思います。

## 司会：志賀康朗幹事

〔点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・四つのテスト（松村耕三会員）〕

松村耕三会員



## ◆来賓の紹介

フリーパーソナリティ ベティ様

### ★結婚祝



渡邊 有さん  
(11月19日)



山崎 慶一さん  
(11月24日)

清水和政さんへご子息の結婚祝が贈呈されました



## ◆会長挨拶ならびに報告



本年度第 2530 地区では、10年間の地区のあゆみを発行する予定になっています。原稿を提出するにあたって、累計寄付額を調べたので、ご報告します。いわき平ロータリークラブの累計寄付額は米山記念奨学会が 31,928,589 円で、17 - 18 年度に 3000 万円達成クラブの感謝状をいただいています。ロータリー財団への寄付は 329,300 ドルになっています。かつて、全員がポールハリスフェローを目指した年度があるとのことでしたので、記念誌を調べてみたところ、2002 - 03 年度勝田会長の年度、50 周年の年度に全員でポールハリスフェローを取得する活動をしたと記録されていました。全員で取得するという目標も大きいですし、それを実現するために活動した先輩方の熱意とチームワークに感動しました。改めて、いわき平ロータリークラブの素晴らしい伝統の上で活動できていることに感謝したいと思います。

## ◆幹事報告

- ハイライトよねやまが届きました
- RI 日本事務局より財団 NEWS11月号が届きました

## ◆委員会報告・会員報告

### ◆出席委員会（軽部良一委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メークアップ数
11月19日	51名	31名	—

### ◆ロータリー財団委員会（阿部弘行委員長）

八幡恭朗さん、関口武司さん、越智正典さん、阿部弘行さん。  
以上4件

### ◆米山記念奨学会委員会（鈴木弘康副委員長）

八幡恭朗さん、関口武司さん、越智正典さん、鈴木弘康さん、大久保健蔵さん。  
以上5件

## ◆スマイルボックス委員会（渡邊有委員）

- ♥八幡恭朗さん（ベティさん卓話よろしくお願ひします。飯野委員長、21日のもちつき楽しみにしています）
  - ♥志賀康朗さん（ベティ様本日はよろしくお願ひします）
  - ♥稲葉廣直さん（ベティさん卓話よろしくお願ひします）
  - ♥渡邊有さん（結婚祝ありがとうございます）
  - ♥山崎慶一さん（結婚記念祝ありがとうございます）
  - ♥清水和政さん（息子の結婚祝をありがとうございます）
  - ♥大久保健蔵さん（ベティさん卓話よろしくお願ひします。早退します）
  - ♥佐々木貢一さん（ベティさんよろしくお願ひいたします）
  - ♥加賀広美さん（ベティさん卓話よろしくお願ひ致します）
  - ♥有賀行秀さん（ベティさんを歓迎して）
  - ♥中村将之さん（ベティさん宜しくお願ひします）
  - ♥飯野光世さん（ベティさんの卓話楽しみにしています）
  - ♥森雄治さん（ベティさん卓話楽しみにしています）
- 以上13件

★本日の例会案内 11月26日（木）12：30～  
会員卓話 ㈱福島民報社取締役いわき支社長  
浜通り創生局長 鞍田 炎会員  
お食事メニュー＝真鯛のバター焼き

★次回の例会案内 12月3日（木）12：30～  
年次総会